

精神科

1. 【一般目標】

医師として全人的に患者を診療するために、医師としての基本的な姿勢を身につけ、精神疾患診療に必要な知識、技術を修得するとともに、包括的な一般精神科診療を実践できる。

2. 【行動目標】

| | |
|---|--|
| 1 | 医師として必要な人間性を身につけ、患者および患者家族との信頼関係を築き、適切に対応する能力を修得する |
| 2 | 精神科診療に関する基本的知識を身につける |
| 3 | 精神科療法（薬物療法・精神療法）の種類を理解し、患者に必要な情報提供ができる |
| 4 | 精神疾患の診断に必要な検査を選択し、適応の有無の判断力を修得する |
| 5 | 精神疾患患者を主治医として担当し、適切な診療プロセスを修得実践する |
| 6 | 精神療法、薬物療法、電気けいれん療法に関する検査、手技を経験し、習熟する |
| 7 | 精神科臨床に必要な外来診療能力、全身管理能力を修得する |
| 8 | コメディカルスタッフと協力してチーム医療を実践できる |

3. 【方略】

| | |
|---|--|
| 1 | 精神科入院患者の担当医として、主治医である指導医とともに診療にあたる |
| 2 | 病棟カンファランスに参加し、精神科臨床一般の理解を深める |
| 3 | 問診、診察、検査結果の解釈、鑑別診断、担当患者の診療計画立案、治療法について修得する |
| 4 | 指導医とともに、新患外来・リエゾン診察に対応する |
| 5 | 精神療法・薬物療法、電気けいれん療法の補助を行う |
| 6 | 回診・カンファレンスに参加し、発表、討論を行う |
| 7 | 学会や研究会に積極的に参加し、症例報告や研究発表を行う |

4. 【評価】

①研修医に対する評価

| 項目 | 評価者 | 時期 | 評価方法 |
|-----------------|------------------|---------------|-------------|
| 担当した入院患者の疾患と患者数 | 自己・指導医 | 患者退院医時又は研修終了時 | 退院サマリーのチェック |
| 診療態度 | 自己・指導医 コメディカル | 研修中旬、研修終了時 | フィードバックシート |
| 関連手技 | 自己・指導医 | 毎週 | |
| カンファレンスでの症例提示 | 自己・指導医 コメディカル | 毎週 | 口頭でのフィードバック |
| 学会発表・論文発表 | 自己・指導医 | 毎週 | 学会発表・論文発表 |

②当該科に対する評価

| 項目 | 評価者 | 時期 | 評価方法 |
|---------------|-----|-------|----------------------|
| 研修医からの当該科への評価 | 研修医 | 研修終了時 | 医療開発センターの診療科への評価表で行う |

③指導医に対する評価

| 項目 | 評価者 | 時期 | 評価方法 |
|---------------|-----|-------|----------------------|
| 研修医からの指導医への評価 | 研修医 | 研修終了時 | 医療開発センターの診療科への評価表で行う |

5. 【週間スケジュール】

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|-----------------------|-----------|----------------------|-----------|-----------|
| 午前 | 病棟カンファレンス | 病棟カンファレンス | 病棟カンファレンス・回診 | 病棟カンファレンス | 病棟カンファレンス |
| 午後 | 外来カンファレンス・病棟Gカンファ・連絡会 | 病棟業務・リエゾン | 緩和カンファレンス・回診・抄読会・発表会 | 病棟業務・リエゾン | 病棟業務・リエゾン |

6. 研修医の事前準備

標準精神医学などの教科書をおさらいすること

7. 【研修指導体制】

研修責任者：小澤寛樹

指導医：指導医一覧表参照

コメディカル：病棟師長、主任

8. 【緊急連絡先】

精神科病棟業務マニュアル参照